

日常生活A その1(事務局加筆はアンダーライン)		
No	1	2
交付金	○	○
プロジェクト名	・池田町情報発信	・達人から学べ
課題	・池田町の情報が分からない、知らない ・発信できない	・多世代のつながりがあまりない
対象	・池田町に住んでいる若者、10代、20代、30代 ・池田町に引っ越してきた人 ・学生(中・高・大) ・池田町を知りたい人	・池田町住民 ・子育て世帯 ・元気なお年寄り
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・食体験などの情報を知ってもらって遊びに来てもらう ・おいしいものイベント ・パラ・ハング+温泉の組み合わせなど ・専門家の解説(古墳・史跡) ・おいしい野菜(無農薬)を作っている人を知れる会 ・町民に参加を呼びかけ、町民目線での地域資源(自然名勝・史跡、体験プログラム、レストラン、特産品、人物)をレポートしてもらう? ・レポートしてもらった内容を、町民にとって愛着をもってもらえるホームページ、SNS、パンフレット等を製作する? ・パンフレットは、ご当地版じゃらんのようにブランド化してはどうか? 	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な分野の達人が教える ・町民から講師を募り、体験プログラム(陶芸教室、転入者向けの町歩きツアー、特産品づくりの体験など)を町民手作りで作る? ・体験プログラム内容を、長良川おんぱくのように、魅力的にPRしてはどうか?
誰と	・主婦(情報をもった食に興味のある人、子供の気持ちもわかる人) ・商工会 ・関係事業者	・役場の人と一緒に活動する
どうして	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力があるのに知られていない ・体験したくても情報がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも相談できる気軽なイベントで知り合いたいから ・教えるほうも生き生きする ・自分から教室には行きづらい ・コミュニティーや多世代のつながりがない ・地区の役があたると知り合えるが、それ以外では交流することがない
手法	<ul style="list-style-type: none"> ・池田町口コミサイト ・池田町HP ・フェイスブック、広めたいこと、発信する手段 ・地元の人の口コミ、空き家情報 ・聞き取りをしてくれるコンシェルジェのような人 ・体験した人の感想 ・池田の歩き方(るるぶ、じゃらんの池田版) ・池田町の情報誌(クーポン、クチコミ) ・個人発信の企業 ・イベントなどをまとめたもの ・中学生(学生)に町内のアピールパンフレットを作ってもらい、学校に置いてもらい、学生も町の魅力を知ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクワク体験(色々なことの体験) ・1番人気の講座を体験 ・池田町のことを知れる池田町ヒミツ会議 ・コミュニティバスに乗って池田町を知ろう ・中学生や高校生が動く大人(保護者)などが興味を持ち、参加しやすい ・体験教室に来た人に次回の案内をする ・ものづくり、陶芸、おいしいお茶の入れ方教室 ・地区の教室などで1回限りの体験(気軽なものがほしい) ・新しく町民になった人に知ってもらえるツアー ・最近の流行を知ろう! という会 ・多世代交流、お年寄りが子供に教えるもちつき、流しそうめんなど ・いつでもきていいよというオープンなスタイル、親近感が持てる形式
場所		・町内公民館など
どんな順番で	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2) 3) 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2) 3)
結果として、どんなまちになる?		